

ひろ **ヒナ**を拾わないで!!

ちが おや どり
近くに親鳥がいます!

だいじょうぶ
大丈夫かな?

よかった
おや どり
親鳥がきたよ!!

イラスト 水谷高英

ヒナを見つけ、放っておけないと判断される場合は、各都道府県の鳥獣保護担当部署にご連絡下さい。

共催 / (公財)日本鳥類保護連盟 ☎03-5378-5691 (公財)日本野鳥の会 ☎03-5436-2622 NPO法人 野生動物救護獣医師協会 ☎042-529-1279 後援 / 環境省

私たちも応援しています

(株)アイワ徽章 (株)アシスト わんわん倶楽部 アトム(株) 大阪府 学研グループ サントリーホールディングス(株) (宗)真如苑
東亜建設工業(株) 栃木県 (公社)長崎県獣医師会 (株)ニコンイメージングジャパン 丸和油脂(株) (株)ユーキャン (株)ラモードヨシダ
大塚製薬(株) 株木建設(株) (株)共立商会 土浦大師不動尊 大聖寺 日本印刷(株)
FUJINAGA 光村印刷(株) ムナテックス(株) (株)メール ハケ岳倶楽部
(公社)愛知県獣医師会 (公社)秋田県獣医師会 アルスコンサルタンツ(株) (公社)石川県獣医師会 イソップ薬品(株) UEDA Nature Sound 永観堂幼稚園 狼森(おいのもり)
(公社)大阪市獣医師会 (社)大阪府獣医師会 (株)オオバ カロラータ(株) (社)北九州市獣医師会 (公社)岐阜県獣医師会 (公社)京都市獣医師会 (社)京都府獣医師会
京都野鳥の会 (株)キリカン洋行 (株)キングジム 寿精版印刷(株) KOWA 滋賀県 (社)滋賀県獣医師会 (公社)静岡県獣医師会 NPO法人 自然環境アカデミー
神宮司庁 高尾霊園犬猫墓地 (公社)千葉県獣医師会 中央法規出版(株) 東京環境工科専門学校 (福)東京コロニー (公社)東京都獣医師会 (公財)動物臨床医学研究所
(社)栃木県獣医師会 鳥取県 中津動物病院 (公社)名古屋市獣医師会 (公社)新潟県獣医師会 (公社)日本獣医師会 (公社)日本動物病院福祉協会
日本野鳥の会 奥多摩支部 (株)博展 ビジョン(株) (株)フレームマン 文永堂出版(株) 文化堂印刷(株) (株)文星閣 (公財)ホシザキグリーン財団 (公社)北海道獣医師会
ホテル龍名館東京 (公社)三重県獣医師会 武蔵村山ペットメモリアルパーク メリアル・ジャパン(株) 森久保薬品(株) (株)モンベル 野生動物ボランティアセンター
野生動物リハビリーター協会 (公社)山口県獣医師会 (公財)横浜市緑の協会 (株)吉元 予防医学教育研究所 和歌山県 (公社)和歌山県獣医師会

この印刷物は、環境負荷低減のため「FSC®認証紙」「VOC (揮発性有機化合物)ゼロの100%植物油インキ」を使用しています。また、印刷は有害な廃液を出さない「水なし印刷」を採用しています。



① 鳥や自然について知ろう (手を出す前に)



② ヒナを助けるには

<ヒナがすぐに巣立つわけ>

自然界での命の原則は、他の生物の食物になること。野鳥の世界も毎日命がけですが、わずかでも生きのびれば1年で大人になって子育てを始め、毎年繰り返します。つまり、生き残る方が少ないので、たくさんの卵を産み、短期間でヒナを巣立たせなければなりません。

スズメでは5個くらい卵を生み、かえったヒナは約2週間で巣立ち、その後1週間くらいを親子で過ごすからひとり立ちし、親鳥はまた卵を産むというサイクルを、春から夏にかけて繰り返すようです。なお、巣立ちまでの期間は、メジロやヒヨドリでは10日ほどしかなく、シジュウカラ・ツバメ・ムクドリの中には、3週間ほどかかるものもあります。

<ヒナの成長を支える虫>

鳥も私たち人間と同じで、他の命を食べなくては生きていけません。特に鳥は、活動的に空を飛ぶために体重を増やせないで、食べてはすぐにフンを出すことを繰り返します。体重15グラムほどのシジュウカラでも、1年間に必要な虫は10万匹を超えるという試算もあるほどです。

秋冬に虫が少なくなると、木の実などの植物質も食べるようになる小鳥も少なくありません。でも、子育てには高栄養で消化しやすい虫が必要なので、虫が多い春から夏を子育てシーズンとするのが普通です。スズメでさえも、ヒナを巣立たせる2週間に親鳥が虫を運ぶ回数は、4千回を超えるといわれています。

<自然の仕組みから学ぼう>

虫に食べられる植物にとっては、虫を食べる小鳥が必要です。でも、小鳥が虫を食べつくすことはありません。それは、小鳥が増えすぎないからです。毎年子育てをくり返して、ヒナが無事に巣立ったとしても、自立、移動、越冬などの訓練が続くので生きのびるのはわずか。一方で、そうして弱ったり死んだ鳥が食物となって、肉食性や雑食性の鳥などの命を支えているのです。

命の大切さは、このようにさまざまな生物が共存し、持続する自然のしくみとともに再認識されなくてはなりません。2005年から国連「持続可能な開発のための教育の10年」、2011年からは「生物多様性の10年」が始まりました。さまざまな生物のつながりから学び、持続可能な未来を目指すべき時代になったと言えます。

<誰にでもできること>

野生の命を助けることは専門家でも難しいものですが、虫を殺さない、虫が食べる植物を残すなど、誰でも小鳥のためにできることがあります。

もし、羽がそろっていないようなヒナが落ちていた場合は、巣立ち前に巣から落ちたのかも知れません。近くに巣があるはずなので、そこに戻してやることで助けられる可能性があります。ただし、ヒナにさわると、手袋をするなどして安全や衛生に気をつけましょう(親鳥が匂いを気にすることはあまりないと考えられます)。

<手を出す場合/救護するには>

ヒナが明らかにけがや病気だったり、自然が豊かな地域では数少ない希少種のヒナが落ちている可能性もあります。放っておけないと判断した場合は、各都道府県の鳥獣保護担当部署に相談して指示をあおぐようにしてください。なお、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護法)」によって、保護のために飼育する場合にも許可が必要です。

行政のアドバイスによって、野鳥の救護や保護飼育に取り組んでいる施設に持ち込めば対応してくれることもあります。ただ、野鳥の保護飼育や自然に帰すための知識や技術はまだ確立されているとはいえません。もともとヒナの生存率は低いので助けるには大変な労力を要し、人に慣れてしまい自然に戻せなくなる鳥もいることや、施設についてもボランティアで運営されている場合も多く、すべてを受け入れることはできないことも覚えておきましょう。また、ドバトやカラスなど増えすぎて問題とされる鳥、外来種などは対応してもらえないこともあります。

<自分で一時的に助けようとする場合に参考になるもの>

BOOK 『野鳥をたすけるはじめの一步
(身近な野鳥の救護・保護のためのハンドブック)』
野生動物救護獣医師協会発行 ¥1,500(税込)

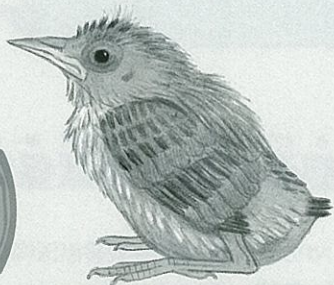
資料 ヒナとの関わり方ハンドブック
(公財)日本野鳥の会発行・無料

ホームページ 特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会
<http://www.wrvj.org/>
(公財)日本鳥類保護連盟 <http://www.jspb.org/hina/hina.html>
(公財)日本野鳥の会 <http://www.wbsj.org/>
(ここからポスターのダウンロードもできます)

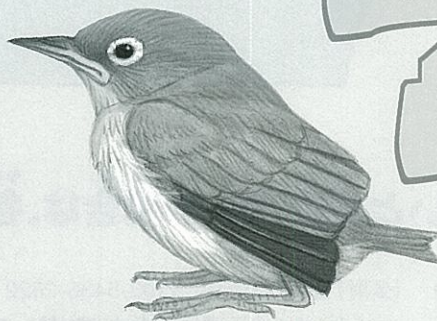
メジロの「巣立ち前のヒナ」と「巣立ち直後のヒナ」

目がきちんと開いていないこともある

羽毛が生えそろっておらず、親鳥より小さく、赤裸や地肌が見える状態のこともある



巣立ち前のヒナ



巣立ち直後のヒナ

羽毛は一通り生えそろっているが、上手く飛べないことがある

羽ばたいていたり、親鳥を追ったりするうちに次第に飛べるようになる

親鳥より尾羽が短いことが多いので、体の大きさは親鳥に近くなるが、少し小さく感じることも多い

このポスターを目立つ所に貼ってください!

日本鳥類保護連盟とは・・・

日本鳥類保護連盟は、野生鳥獣に関する科学的知識と鳥獣保護の精神を広く普及するために、1947年に創設された公益法人です。毎年、愛鳥週間(5/10~16)に行われる「全国野鳥保護のつどい」をはじめ、「全国野生生物保護実績発表大会」、「愛鳥週間用ポスター原画コンクール」など、多くの活動を国や地方自治体などとともに行ってまいりました。野鳥をまもるには、野鳥が巣をつくる場所やエサとなる小動物など自然全体をまもることが必要です。そのため1960年に創刊した機関誌「私たちの自然」では、植物を含めた鳥以外の生きものも一貫して取り上げています。



公益財団法人 **日本鳥類保護連盟**
Japanese Society for Preservation of Birds

【お問い合わせ先】 166-0012 東京都杉並区和田3-54-5 第10田中ビル3F
TEL: 03-5378-5691 FAX: 03-5378-5693 <http://www.jspb.org>

会員を募集!

野鳥やそれを取り巻く自然をまもるためには、多くの方の力が必要です。いつでもどなたでも入会できます。

- 特別支援会員・・・1口 10,000円
- 正賛助会員・・・1口 5,000円
- 普通賛助会員(学生・生徒)・・・1口 3,000円
- 法人賛助会員・・・1口 20,000円

※入会すると、会員証・会員バッジ・年6回機関誌「私たちの自然」をお送り致します

バードピアに登録しよう!

バードピアとは、自宅の庭や企業の敷地などの一部を野鳥などの生きもののために整備して提供しようとするものです。バードピアが増えていけば、生物多様性に富んだ街づくりを進めることができます。バードピアの輪の広がりを実感してもらうために登録制にしています。登録者には、シリアル番号が入った登録証を無料配布しています。皆様のご登録をお待ちしています!

